

平成29年度 第7回嘉麻市公民館運営審議会

1. 開催日時 平成29年12月26日(火) 15:00～16:05
2. 開催場所 嘉麻市嘉穂生涯学習センター 大研修室
3. 公開又は非公開の別 公開
4. 傍聴人数 0人

5. 出席者

【審議会委員】

| | | | | | | | | | |
|--------------------------|-------|--------------------------|-------|--------------------------|-------|--------------------------|-------|--------------------------|-------|
| <input type="checkbox"/> | 岡 幸江 | <input type="checkbox"/> | 大田 守 | <input type="checkbox"/> | 大山 征男 | <input type="checkbox"/> | 木下 侑則 | <input type="checkbox"/> | 川原田寿史 |
| <input type="checkbox"/> | 大木 秀一 | <input type="checkbox"/> | 櫛 ひろ子 | <input type="checkbox"/> | 手島 静恵 | <input type="checkbox"/> | 森田 信代 | <input type="checkbox"/> | 赤間 秀人 |

【オブザーバー】

| | | |
|--------------------------|---------|-------|
| <input type="checkbox"/> | 筑豊教育事務所 | 上野 修司 |
|--------------------------|---------|-------|

【事務局（教育委員会）】

| | | | | | |
|--------------------------|----------|--------|--------------------------|----------|--------|
| <input type="checkbox"/> | 教育長 | 木本 寛昭 | <input type="checkbox"/> | 生涯学習課長 | 長岡 和広 |
| <input type="checkbox"/> | 生涯学習課長補佐 | 田原 薫 | <input type="checkbox"/> | 中央公民館係長 | 山本 賢治 |
| <input type="checkbox"/> | 中央公民館係 | 末永 美津子 | <input type="checkbox"/> | 中央公民館係 | 春口 やよい |
| <input type="checkbox"/> | 嘉穂地区公民館長 | 田中 隆 | <input type="checkbox"/> | 山田地区公民館長 | 松岡 一彦 |
| <input type="checkbox"/> | 碓井地区公民館長 | 福田 勇 | <input type="checkbox"/> | 稲築地区公民館長 | 宇佐波 吉徳 |

【その他】

- 公民館基本計画策定業務請負業者 ブレンファーム（中岡 裕晶）

6. 議題

(1) 公民館基本計画（案）について

①よりよい公民館運営のためのアンケート説明・・・資料を基に説明

- ・利用者アンケートの実施時期が遅くなったことから、公民館基本計画には反映しておらず、今後の公民館事業実施のための参考にしていく。
- ・公民館基本計画を来年度より実施していくうえで、実際、公民館を利用している方の声として、様々な事業に生かしていきたいと考えている。
- ・今回の報告書については、各地区公民館、各分館にて実施しているが、回答者数に大きくばらつきがあり、それぞれの公民館毎の数値ではあまり参考にならないものもある。そのため、設問の内容に応じて、地区毎で分けて報告しているものや、地区公民館・分館で分けて報告しているものがある。

[内容説明]

- ・1ページ・・・調査目的や調査フレームを記載。
- ・2ページ・・・「回答者の属性」について記載。

→今回の利用者アンケートの回答者数について、地区別回答者数は地区公民館で229人、分館で232人の回答をいただき、合計461人の回答数となっている。

「年齢」については、60代以上の方の回答が多く、全体の6割

を超えている。

- ・ 4 ページ・・・「調査結果の分析」について記載。
- ・ 5 ページ・・・問 3 「公民館を利用し始めてからどのくらいになりますか。」については、各地区、4 割から 6 割程度が「10 年以上」と回答。長年公民館を利用いただいている方が多いことが分かる。碓井地区において「10 年以上」との答えが少ないことについては、碓井地区公民館が現在の場所に移ってからまだ 3 年程度しかならないことが原因だと考えらる。
- ・ 6 ページ・・・問 4 「どのような経緯で利用するようになりましたか。」については、どの区分からみても「友人・知人からの紹介」との回答が多く、いかに口コミや直接の声かけが大切だということが伺える。
- ・ 8 ページ・・・問 6 「公民館で、どのような事業や講座を実施してほしいと思いますか。」については、全体をみても「高齢者の社会参加を促進する事業」と答えた人が多く、次いで「仕事や生活に役立つ実用的な講座」と答えた人が多かった。この結果については、今年の 4 月から 5 月にかけて実施した「市民アンケート」でも、「語学やパソコンなどの実用的な分野」と答えた人が 2 番目に多く、日頃から公民館を利用している人や、利用していない人についても関心が高いことが伺える。
- ・ 10～12 ページ・・・

問 8 「公民館事業についてどう思いますか。」について、「講座やイベントの内容」や「開催時期、時間」などそれぞれに答えていただく内容になっていたが、この設問については未回答が多く、この未回答をどう捉えるかによって異なるが、未回答を除けば、ほとんどの方が「とてもよい」「よい」と答えていることが分かる。
- ・ 13 ページ・・・問 9 「公民館に、あったらよいと思う設備や機能は何ですか。」については、全体でみても「休憩やおしゃべりができるくつろぎスペース」と答えた人が多く、次いで「災害時の避難所としての機能」であることが分かる。
- ・ 14 ページ・・・問 10 「公民館で取り組むべき課題はどんなことだと思いますか。」については、「市民の集まりやすい環境を整える」に次いで、「利用者層を拡大する」との答えが多いことが分かる。
- ・ 16 ページ・・・問 12 「公民館に期待することはなんですか。」について、記入方式でたくさんのご意見をいただいている。
- ・ 20～21 ページ・・・利用者アンケートの内容を添付

②公民館基本計画（案）修正点・・・資料を基に説明

- ・ 第 6 回公民館運営審議会でもいただいたご意見を反映したものが今回の公民館基本計画（案）になる。いただいたご意見の外にも、全体を見直し、文章の手直しや文言修正等も行ってる。

[内容説明]

- ・ 今回の公民館基本計画（案）について、1 枚めくったところに「市長のあいさつ」の見本と最後ページに裏表紙をつけている。

- ・ P.3・・・【表3】旧自治体別人口の推移修正。
- ・ P.4・・・【表4】小学校別児童数については、前回の意見をもとに追加修正。
- ・ P.13・・・「⑤留意点」については、小数第二位を四捨五入しているため、グラフの数値を足しても合計が100%にならない場合があるため、追加修正。
- ・ P.19・・・文章を分かりやすくするため、文章の一番初めに、施設の耐用年数を記載するよう追加修正。
- ・ P.28、P.2・・・

【参考】県内各市町の中央公民館等に関する経緯については、内容について再確認し、後日追加修正したいと考えている。また、設置状況等の欄については、中央公民館がないところだけを掲載しているので、あえて0と表示してもあまり意味がないことと、地区館の呼称や考え方がそれぞれの自治体によって異なり、誤解を生む可能性があるため、削除したいと考えている。

- ・ P.30・・・「③分館」の下から2文節目に追加修正。「新たに分館を設置する区域においては、山田・嘉穂地区で実施している事業や先進地事例を参考にしながら、事業実施への支援を行うことによりコミュニティ意識を醸成していきます。」については、分館方式にしていくには、住民が自ら考える機会が必要であり、調整ではなく、未来ビジョンをどう作っていくのか住民自らが決めていく必要がある。説明だけではなく、事業を行っていくことを並行して行うことにより、新しいエリアで何かを作るという意識を住民に持ってもらうことが必要である。」に追加修正している。

また、分館、自治公民館への活動補助金の掲載については、たくさんのご意見をいただいたが、「補助金の記載についてはあまり踏み込まない方がよいのでは。」との意見があったので、先ほどの文章の後に、「分館での活動については、活動費に対して補助を行います。」という形で、簡潔に記載している。

「④自治公民館」の上から4行目「今後の自治公民館活動については、分館に集約できるものは分館に集約し、それ以外は現行通り地域住民を主体とした自主的な活動が望まれます。」については、分館方式になった場合の自治公民館の今後の活動のことと、分館にはこういう公民館活動を移行していくという内容を追加修正している。

- ・ P.32・・・枠中の稲築地区公民館については、「施設の整備を行う」としていたが、以前から「建替」とできないのかというご意見をいただいていたため、「施設の建替を検討する。」と追加修正している。
- ・ P.33・・・【分館の配置基準】については、P.34【自治公民館の配置基準】と記載方法を揃えるため、追加修正している。
- ・ P.35・・・【多種多様な情報発信例（参考）】の3つ目については、文章を分かりやすくするために追加修正している。
- ・ P.36・・・「②幅広く意見を聴取し運営に反映させる仕組み」の下から2行目、「加えて、男女を問わず、若い世代から高齢者まで」と「③住民参画に向けて」の上から4行目「男女を問わず、若い世代から高齢者まで」については、男女共同参画の意見をもとに追加修正している。

また、【住民参画に向けた具体的な取り組み例（参考）】については、文章を分かりやすくするため、追加修正している。

- ・ P.39・・・置戸市と P.41 の佐賀市の先進地事例については、各自治体から掲載内容について修正があったものをお配りしている。

【意見及び質疑応答】

○P.10 の自治公民館等の設置状況の表について、「※ここで自治公民館に計上している数値は・・・」と記載しているが、集会所に補助金が出ていないのが分からない。自治公民館の横に「補助金あり」や、「補助金なし」とした方が分かりやすいのではないのか。このように記載していたら、集会所にも補助金が出ているように感じる。

⇒集会所には補助金はない。

○集会所には出ていないのならば、出ていない旨を記載しておいた方がいい。集まれる場所が遠くなる、補助金がなくなると思われている方が居るため、補助金が出ていないことをはっきりしていた方がいいのではないか。嘉穂も山田も集会所があり、その区別がつくように表に分かりやすくしていた方がいいのではないか。

⇒活動の補助金関係、施設が残っても補助金がないという事が分かるように補助金がある所と無い所を明確にすることも含め検討する。

○11 ページの家の絵を10 ページの表も同じ家の色で色分け出来ると思うので、分かりやすくなるのでそうしてみてもどうか。

○補助金の事に派生して色々な問題が出てくるから、出さない方がいいという結果になったが、それを踏まえて現状がどうなっているのか、今の補助金の中身が分かりにくい。補助金がある、ないだけで、現状がある程度分かれば額が無くても、ここに補助金が出ている、ここには補助金が出ていないなど、少しわかった方が話を進めやすいと思う。これだと表の下に印で標記されていて、この意味は自治公民館には補助金が出ているように見える。

⇒建物の名称を集会所という呼び方で、自治公民館として利用している所もあるし、その逆の場合もある。補助金を交付している所は、自治公民館として記載している。公民館の名称だけではなく、実際に集会所を自治公民館として利用している所は、自治公民館として表記している。

○表に関してなら、入れても問題ないのではないかと。

⇒検討する。

○11 ページは所有か、所有じゃないのかということか。

⇒市が所有している自治公民館か、そうじゃないのかという絵になる。

○10 ページの事は細かく書いてあり、例えば自治公民館の市所有の稲築の18 となっているのは11 ページの左側の青の家ですよね。同じ稲築の自治会等所有の9は11 ページの右側の緑の家という事ですよね。それを色で分けたら分かりやすいのではないかと思います。ページがまたがっているので、色で分けた方が見やすいのではないかと。

⇒表の中で色分けを検討する。

⇒体系図について、事務局でも検討した。その時に山田地区の下に集会所を入れて、嘉穂地区は自治公民館を入れて、稲築と碓井の自治公民館と山田と嘉穂の分館までは、別の色付けで補助金が出ていると表記し、集会所と

自治公民館には補助金が出ていない、その枠から外れているという表を一時入れようと議論があったが、説明を入れないと分かりづらいのではないかという事で、シンプルにしたいということでこの形になった。異論があれば、その表も含め再度検討していきたいが、いきなり入れるとその中身が分からなくなるのかもしれない。

○色付けするのは、集会所の山田地区の39は青の家で、2は緑の家という事ですよね、説明を読んだが。嘉穂地区でいうと19は青の家、36は緑の家。施設の補助金についてはそういう事ですよね。火災保険は市で入る、他は任意で入るという事ですよね。

⇒複雑で申し訳ないが、施設については教育委員会が持っている施設だけではなく、市営住宅の施設を公民館や集会所で使っている地域、同和対策の関係で作られた施設を公民館や集会所で使っている地域がある。市所有と自治会所有というのは、市所有は市が建てており、自治会は地元が建てており、別れている。ただ、補助金を出している公民館というのは、市の所有に対し全部出しているものだけではなく、稲築であれば27ある公民館は市の建物の公民館もあれば、地元所有の建物もあるため、各行政区に1館出している形となっている。

○補助金ではなく、建物についての色分けをしてはどうかという意味で、比較が11ページにあるので、これを明確にすることで分かりやすくなるのではないか。

⇒色分けすることを検討する。

○10ページの左の自治公民館の内の自治会等所有については、自分たちで管理しないといけないということか。

⇒この表は、どちらも自治公民館のことについて記載している。

○嘉穂才田公民館は集会所ですか、自治公民館ではないのだが。19と3のどちらに入るのか。

⇒集会所の5に入る。

○10ページ集会所等自治会等所有に入るのか。

⇒嘉穂才田は全部で4館あり、枝国公民館、迎原公民館、嘉穂才田集会所、浦田集会所で、市所有と地元所有が半分ある。呼び方も地域によって集会所だったり、公民館だったりする。公民館となっている所が多いのは、建てる時に公民館の補助金を使う関係で公民館の名称を使ってる所もあるかと思う。実際の活動は集会所としての活動をしているが、補助金の対応とするため公民館と申請されている所もあるのかもしれない。

⇒補助金について、補助金は活動補助金と修繕費の補助金と2つあり、基本計画には、活動補助金を記載している。

○修繕補助金は、市所有の所だけに交付するのか。

⇒市所有の所は市が修繕をするので、補助金は交付しない。

○修繕補助金は入れなくていいが、活動補助金を入れて欲しい。

○山田地区は、10ページで自治会等所有が2となっており、私は0と認識していたが。

⇒1つが旧嘉穂町の集会所だと思われるが、原町行政区が合併した時に同じ原町になったかと思う。その時に猪之鼻地区、三菱第一集会所が行政区所有になっており、地元が建てたか、何かの保償金を貰って建てた形なのかもしれ

ない。山田地区の集会所条例に入っていない施設があるかと思われます。

○三菱と猪之鼻が2件入っていて、基本的には地元が管理しているということで良いのか。

○29ページの「県内各市町の中央公民館等に関する経緯」の部分は削除するとあったが。

⇒削除する部分は中央公民館の設置状況の欄になる。「県内各市町の中央公民館等に関する経緯」の右側の欄「設置状況等」の部分を削除したいと考えている。これは全て中央公民館が無くなった所を挙げており、全部中央公民館が0で挙げています。地区館は、自治公民館を地区館とっている所や、地区公民館を地区館とっている所とあり、呼び方が違い、誤解を招くかもしれないため、この部分は削除させていただきたい。

また、設置状況の削除にあたり、表題についても修正を行う可能性があるのでご了承いただきたい。

○28ページも同様に削除するのか。

⇒28ページも同じように設置状況等の部分を削除したい。

○中央公民館の事も納得したが、地区公民館が4つに分かれて、なおさら格差が出るのではないかと心配する方も居た。かえって地区公民館を無くして、分館と中央公民館があった方が嘉麻市として良いのではないかという意見も出ていた。中央公民館がなくなって、地区公民館長が頑張っていられると思うが、そうすると4つの地区は、嘉麻市全体を見通した活動が出来るのか。また、中央公民館係は、社会教育係に置かれるという事になるかと思うが、そこに中身が無いから市としても考えて欲しい。

もう一つは、地域のリーダー養成もしっかりお願いしたい。市として、講座を持って欲しいと。公民館活動、教育活動にリーダー養成講座というのをしたい。

⇒当然、地域の核差が無いようにするためには、中央公民館の係は残し、生涯学習課の中に置くだけであって地域への支援を行うことは今までと変わらずやっていく形になる。今の状態では嘉穂地区に中央公民館がある事で嘉穂の支援は出来ていたが、他の地域には出来ていなかった部分もあった。中央公民館という建物を無くすことで、4地区に均等に支援が出来るような形にしたいし、嘉穂の支援も減らさないようにもっと充実させていく形をとっていきたいと考えている。中央公民館が無くなるという事に関して、心配される意見が出てくるのは理解している。その事で、公民館活動が出来なくなるという事がないように考えている。

(2) その他

1) 今後の会議及び研修会等について

平成30年2月9日(金) 「福岡県公民館実践交流会」 (コスモスコモン)

2) 今後の日程について

平成30年2月21日(水) 第8回嘉麻市公民館運営審議会 (夢サイトかほ)

【意見及び質疑応答】

○運営審議会で、今の30代、40代の結婚の手助けは出来ないのかという意見

が出ていたが出来るのか。婚活というのは出来るのか。香春町の研修に行った時、ロバート・ワトソンさんが婚活について話をされていた。若い人が居ても、増えないのでこういう事をした方がいいのではないか。

⇒嘉麻スタイルの方でそういう活動はされている。嘉麻スタイルも色々事業をしているので、嘉麻スタイルと協力しながら公民館活動と一緒に出来る事業があればと考えている。嘉麻スタイルは、SNSなどの発信に長けていて、公民館はその部分が出来ていないので、公民館活動を嘉麻スタイルと一緒に出来れば、PRが出来て公民館に来られる方が増える可能性がある。今後、嘉麻スタイルと話をしながら、例えばイベントとして婚活とかを行い、場所は公民館を利用していくことも含め、実施できる事業が出てくるかもしれないので、事業計画を立てていき、今後人が集まっていく形になるようにしていきたいと思っているので、検討していく。

○稲築や桂川で婚活イベントがされていると思った。

○嘉麻市でも2件ほど、婚活イベントがあったようだが。

⇒嘉麻スタイルから相談があり、カップルでの陶芸を検討されていたようだが、今回は参加人数が少なく開催出来なかったと聞いた。今後、そういったイベントの話があれば、検討していきたい。

7. 配布資料

- ・平成29年度 第7回嘉麻市公民館運営審議会次第
- ・よりよい公民館運営のためのアンケート報告書
- ・嘉麻市公民館基本計画（案）

上記のとおり相違ないことを確認する

平成30年3月30日

会議確認者氏名 大田 守